

埼玉県PCR検査等無料化事業始まる！

オミクロン株の市中感染の確認に伴い、昨年12月28日から、感染リスクが高い環境にある等、感染に不安を感じる無症状の埼玉県民の方は、県内の薬局・ドラッグストアにて無料で検査を受けられるようになりました。

※以下3つの全ての条件を満たす場合、県内の薬局等で検査を受けられます。（無料）

- 1、発熱などの症状がないこと
- 2、感染に不安があること
- 3、埼玉県在住であること

*実施事業者

久喜市ではウエルシア薬局菖蒲店（久喜市菖蒲町三箇529）

月～土 : 9:00～13:30/14:30～19:00

日、祭 : 10:00～13:30/14:30～19:00

久喜市以外のウエルシア薬局でも埼玉県内なら受けられます



①自分が無料検査の対象になるか確認

『1.無料検査の対象者』で自分が対象であるかご確認ください。

②検査できる場所を探す

『3.実施事業者一覧』で市町村名を選択してお探しいただけます。

③必要な持ち物

氏名、現住所、生年月日が判別できるものをご持参ください。（例、個人番号カード、免許証、保険証etc..）

④検査場で検査

検査の種類
(採取は自身で行います)

検査の種類	使用する検体	検査結果判明	有効期限
PCR検査	唾液	1日～2日後 メールや郵送	採取日＋3日
抗原定性検査	鼻腔ぬぐい液 (鼻の入り口から2cmほど)	15分～30分 その場で手渡し	検査日＋1日

⑤検査結果通知書を使う

有効期限をよく確認のうえ、必要な場所で提示もしくは陰性を確認してください。

万が一「陽性」の結果が判明した場合は速やかに医療機関を受診してください。

本年も市民にとって
「優しくて頼りになる
議員団」をめざして
がんばります！

住民税非課税世帯等に 臨時特別給付金が！

新型コロナウイルス感染の影響を受け、様々な困難に直面している方を支援するため、住民税が徴収されていない世帯に対して、10万円の現金が給付されます。

予算総額 17億2500万円

対象世帯数 17,250世帯

青毛堀川の
水仙です



対象世帯 (プッシュ型)

世帯全員が住民税非課税の世帯

(生活保護世帯も含まれます)

事例① 1人世帯の場合

年間収入が93万円以下の方

事例② 3人世帯で、2人を扶養し収入のある人が約168万円以下の世帯

例外 ※扶養されている方のみで暮らしている世帯は対象外となります。

申請は「確認書」を返信する

対象世帯には市から確認書が1月下旬～2月上旬に届きます。

確認して、3ヶ月以内に返信することで順次、振込にて給付されます。

対象世帯 家計急変型 (申請が必要です！)

コロナウイルス感染症による影響受け、収入が1ヶ月だけでも減った方

◆収入の減った対象期間は、令和3年1月～令和4年9月30日までの期間

★事例① 1人世帯の場合

市民税が徴収されていても、対象期間内で、1ヶ月の収入が77,500円以下の月があった場合、給付の対象となります。

★事例② 3人世帯で、2人を扶養し、世帯主の方の収入により市民税が徴収されていても、対象期間内で、1ヶ月の収入が140,000円以下の月があれば、給付の対象となります。（※減少した月x12ヶ月を急変した基準とする為）

申請用紙の取得・申請の仕方は

- ・久喜市の社会福祉課、社会福祉協議会、郵送等で申請書を受け取り、申請は社会福祉課に提出します。郵送でも受け付けます。
- ・受付期間は、1月下旬～2月上旬から開始し、令和4年9月30日まで。

問 減収となった給料明細書など必要ですか。

答 必要です。該当する月の通帳の記録でも良い。コピーを提出します。

疑問な点は、久喜市役所 電話 22-1111 社会福祉課にお問い合わせを。

生活困窮世帯に10万円の支援決定

杉野おさむ

久喜市桜田 3 丁目 7-1-504



鷺宮地区・大雨冠水対策を急げ（桜田 4 丁目、西大輪地域冠水）

答 桜田 4 丁目の冠水対策として、水路の断面を拡張し改善していく。令和 4 年に設計しできるだけ早く工事に着手していきたい。

西大輪地域の冠水は複数の市町で協力して解決を

J R 沿線一帯の冠水対策は、線路の反対側に流す「大中落」の下流域である幸手市、杉戸町などと久喜市が共同して大型遊水池を造る提案もし、対策を求めてきた。一刻も早くお願いしたい。

答 以前、幸手市内などに 8 万トンクラスの貯水池など検討してきたが、大中落とし川の川底を傾斜がつくよう改良していく。

新総合複合施設整備推進する市の進め方の是正を求める

問 市の検討委員会に使われた資料が出されたが「中央道笹子トンネル天井崩落事故」の記事中、事故の原因を老朽化が事故原因としている。これは国の検証と異なる。不適切ではないか。

答 ボルトに使用する接着剤が老朽化している、とする報告がある

問 トンネルの崩落が老朽化原因と断定している。これでは「市役所が老朽化して事故につながる危険が迫っている」と市民は受け取ってしまうのではないか。

答 危険性をあおる必要はないので、そういう考えはなかった。

問 新市役所の建て替え候補はどこか。①本庁現在地の周辺 ②鷺宮地区アリオ鷺宮周辺 ③その他

答 今後の審議になるので、いま候補地はない。

意見：推進債の期限も伸びたので時間的余裕がある。市民に十分で正確な資料を提供し、じっくり考えていただくことが重要だ。

平間ますみ

久喜市本町 8-4-1



久喜北陽高校西側の冠水対策

問 久喜北陽高校西側の冠水対策として、2018 年 6 月議会では、対策として雨水を円滑に流すための道路のかさ上げ工事や、ポンプの設置工事が必要であることから検討していきたいとの答弁であった。3 年以上経過しているがこの間の取組状況について伺う。

答 住宅が隣接している市道久喜 2527 号線でも道路冠水が発生しており、この箇所を優先して対応する必要があると判断し、現在排水ポンプの設置工事を実施している。市道久喜 2261 号線については、道路のかさ上げをした場合、影響が住宅に面した道路側に及ぶことも懸念されることから、慎重に検討を進めている。令和 2 年度に側溝脇の平場にコンクリートを打ち、側溝の機能を確保する対策を実施した。

市内の空き家対策

問 なかなか改善に至っていないのが現状であるが、令和 3 年 7 月 1 日から「久喜市空家等の適切な管理に関する条例」が施行された。管理不全な空き家の件数を、それぞれ地区ごとに伺う。

答 管理不全空き家等 193 件のうち、空き家等の全部または一部が倒壊するおそれのある状態は、久喜地区 7 件、菖蒲地区 4 件、栗橋地区 1 件、鷺宮地区 1 件、合計 13 件。今後の空き家等対策については、管理不全な空き家等への適切な管理を促進する改善の視点、空き家等の活用と流通を促進するための活用、流通の視点、管理不全空き家等にさせないための予防の視点、これら 3 つの視点を基本方針とし、推進してまいりたい。

市民によりそう市役所の姿勢が求められる

石田としはる

久喜市栗橋東 5-7-21



済生会栗橋病院から秋谷病院への円滑な医療継続を

問 済生会栗橋病院、秋谷病院、久喜市との 3 者協議の内容は。

答 済生会病院は、秋や病院に譲渡する医療機器等の調査を開始し、秋谷病院は病床の配置等を検討している。

問 秋谷病院の開院時期、病棟全体の活用についてはどうか。

答 具体的な開院時期は未定。医療提供体制は、標榜している診療科目を行い、現在の許可病床数である 114 床にて運営する。

問 移転後、済生会加須病院への交通手段の確保として済生会病院によるバスの運行を打診しているのか。その際久喜市からの支援は。またデマンド交通（くきまる）で栗橋から新久喜総合病院へ通院できるよう目的地に加えるべきでは。

答 交通手段の確保は、同病院が主体的に行うもの。市からの支援は考えていない。デマンドの目的地拡大は考えていない。

大規模水害対策 広域避難の実効性を高めることを求めて

問 市は広域避難弱者に対してバスを配車する。バスを利用する人数を地域毎に把握すべき。運行開始や所要時間は。

答 用意できるバスは限りがある。利用人数は災害の規模や発生時の状況で異なり、利用見込数や所要時間の想定は考えていない。

問 バスを出し広域的に避難してもらうことは前進だが、決壊までに避難できるようにするのは久喜市の責任。人数が見込めないと放置しては逃げ切れない。バスに何人乗るのか調査は絶対必要。やらなければ実効性が伴わない。検討すべき。

答 要援護者を含め、市全体で犠牲者ゼロを目指すと考えている。

渡辺まさよ

久喜市所久喜 705-311



問 公共施設の除草業者のゴミ搬入が、久喜宮代・菖蒲センターと八甫センターでは違っている。八甫地域の事業者は民間処理場へ持ち込んでいるため持ち込み料が高くなっている。委託料に上乗せをすべきではないか。

答 事業者が必要経費を計上し、入札や見積もり合わせをして契約している。必要経費は委託料に含まれている。

問 久喜市のゴミを他の民間で燃やすのでは無く、久喜市自区内処理を（市内どこでも処理）すべきだ。

答 久喜宮代衛生組合では地区外のゴミ受け入れはできないとしている。

問 少子化問題を考える上で、子ども医療費 18 才まで無償化は進めるべき。

答 多くの財政負担を伴う。県へ対象年齢の拡大を要望する。

問 県道川越栗橋 12 号線は相変わらず渋滞がひどく、危険である。歩行用橋設置、歩道整備、信号機設置等何度も改善要求をしているが一向に進まない。工業団地の企業誘致や物流センター建設など優先させ、周辺の対策をしていない結果ではないか。市の責任で対応すべきだ。

答 県へ毎年要望している。歩道整備は菖蒲地域から東へ進めてきている。様々な検討はされているが、質問の箇所は警察協議や用地問題の関係で進展が見られていない。

問 10 年以上改善要求をしている。一カ所ずつでは進むはずがない。予算を含め具体的に要求を。さらに先日開催された、渋滞解消のための関係者会合の結果は。

答 調査結果報告、意見交換がされた。